

2016年度 前期		リフレクションペーパー					
学科名	建築・デザイン						
科目名	建築デザイン						
科目区分	専門	単位数	2	開講時期	15		
必修・選択の別	選択						
担当者	井原徹						
授業の到達目標 (シラバスから)	<ul style="list-style-type: none"> ・建築デザインの基本的構成要素を把握し説明できる。(B4) ・建築構成の分析と問題発見を行うことができる。(B4) ・建築デザインの主な理念と方法を把握し説明できる(B4) ・最近の建築デザインの傾向を把握し建築デザインの理論について説明でき 						
日程と内容	<p>第1回：導入講義：授業の進め方と概要の説明、成績評価法。建築デザインとエンジニアリング</p> <p>第2回：建築デザインの近代：近代建築と計画のはじまり、転換期の建築デザイン、近代の巨匠の建築とデザイン</p> <p>第3回：建築デザインの二〇世紀：現代建築の視座、場所・構造・意味</p> <p>第4回：建築デザインにおける日本の戦後：日本戦後近代の建築、日本の建築と都市</p> <p>第5回：建築デザインにおける表記の射程：意図の伝達、子高の外在化</p> <p>第6回：建築の原点と建築デザイン：原始の小屋と建築デザインの理念</p> <p>第7回：建築の要素と建築デザイン：内と外、和と洋、壁と窓、床と柱</p> <p>第8回：中間のまとめ</p> <p>第9回：建築の形とデザイン：単位と形、形の操作、形の組織化</p> <p>第10回：建築の部分と全体のデザイン：調和とプロポーション、身体と人間尺度、部分と全体</p> <p>第11回：建築におけるひかり：建築の光、陰と光、日本の光、多様な光</p> <p>第12回：建築デザインと空間：空間の位置づけ、連続な空間と非連続な空間</p> <p>第13回：建築デザインと近現代都市：近代の都市化、都市のイメージ、グローバリズム</p>						
成績評価基準	定期試験	70%	実技				
	臨時試験		部外評価				
	報告書・レポート		プレゼンテーション				
	課題	30%	計	100%			
	演習						
授業到達目標の達成度	成績並びに出席状況は良好であり、受講者数も増加した。これ以上は受け入れられない状態で、過年度生も25%程度いる。授業内容の到達度は良好と考えている						
反省点	出席状況は良いが、学生が収集度が不足し手いように感じられる。緊張感を持たせるために、積極的に質問していったほうがよいように感じられるので、次年度からは実施したい。						
来年度の計画	来年度が最終年度となるので、これら学生への対応を考慮しなければならない。						
授業評価アンケートに対するコメント	スライドとの一と併用授業のため、板書の時間が少なくなると思われる野で出来るだけプリントで補足します。						
履修登録者数	93名	定期試験 受験者数	90名	合格者数	84名	合格率	93%